

平成21年度決算を認定!!

一般会計7億6千万円増 (対前年度比)

定額給付金等により増額

を行いました。(関連記事を4～5ページに掲載)平成21年度一般会計歳入歳出決算ほか各6特別会計、及び2企業会計は、すべて認定されました。平成21年度は定額給付金事業や地域活性化各交付金に伴う国からの支出金により前年度と比べ7億6千万円余の大幅な増額になりました。その他陳情3件の審議を行い、1件を採択、2件を継続審査としました。(詳細は14ページに掲載)一般質問は5名の議員が行いました。

9月定例会

9月定例会は、9月7日から17日まで11日間の会期で開催されました。

町からは、人事案件が1件、条例の一部改正が1件、協議事項が2件、平成22年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算が7件です。これらはすべて同意、可決されました。

また、平成21年度決算は、本会期中13日に議員全員による決算審査特別委員会(柳下清委員長)を設置し、詳細な質疑



子どもたちの肩たたきで微笑む皆さん(久賀地区老人のつどい)

歳入歳出決算額

●学校給食センター事業特別会計	歳入 1億9,792万円	歳出 1億9,410万円
●国民健康保険事業特別会計	歳入 21億2,689万円	歳出 20億5,985万円
●老人保健特別会計	歳入 3,827万円	歳出 3,744万円
●農業集落排水事業特別会計	歳入 1億4,785万円	歳出 1億4,238万円
●介護保険事業特別会計	歳入 10億8,023万円	歳出 10億4,415万円
●後期高齢者医療特別会計	歳入 1億3,422万円	歳出 1億3,373万円
●国保多古中央病院事業会計	収益的収入 17億3,735万円	収益的支出 17億2,843万円
	資本的収入 4億5,143万円	資本的支出 4億9,528万円
●水道事業会計	収益的収入 2億9,637万円	収益的支出 3億1,593万円
	資本的収入 2億5,583万円	資本的支出 3億8,345万円

(千円以下は切り捨て)

監査委員意見

平成21年度一般会計の歳入歳出決算の監査委員意見(要旨)は次のとおりです。



石井幸夫監査委員

歳入では、町税が法人税や固定資産税、自動車取得税の減少があったが、地域雇用創出推進費の創設及び法人税の減収に伴う普通交付税の増加や、定額給付金事業補助金及び地域活性化各交付金に伴う国庫支出金の増加、臨時財政対策債の増額があり、前年度に比べ歳入総額で7億8,873万円、14.1%の増加であった。

歳出では、定額給付金事業や子育て応援特別手当、病院事業会計への繰出金、無人ヘリコプター導入事業、都市計画道路改良工事等により歳出増があり、前年度に比べ歳出総額で7億6,163万円、14.8%の増加であった。

総体において、歳入歳出とも計画どおり確保、執行されたものと認められるところであるが、歳入では、課税客体的な把握に基づいた賦課と徴収の向上等財源の確保の努力が望まれるところであり、歳出においては、各種施策に関し、その施策の緊急性及び対費用効果を十分検討し、事務の効率化を図るとともに健全な財政運営の確保に努められたい。

監査委員 石井幸夫
監査委員 鎌形榮一

平成21年度一般会計歳入歳出構成比率

